

30111港湾海岸工事業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	8 9	災害復旧工事にて、捨て石整形作業を行うため、潜水（水深2m）をしていたが、35分ほど時間が経過した頃から、具合が悪くなり意識が朦朧としたため緊急浮上した。	33	12	111	10 ～ 29 人
2	2018	3	13 14	起重機船より、マウンドに据え付けしてある被覆ブロックをオレンジバケットで、海中より撤去引き揚げ作業を行い、そのブロックを防波堤上でバックホウ0.7型の移動式クレーン使用により、防波堤上に集積作業していた。海中より上がった計画にないトリバー（4t型）を職長である被災者が玉掛指示を行い、集積中、車両系機械計画にない4t型被覆ブロックを吊り上げ、右旋回してゆっくり傾き海中に転落した。	54	10	142	10 ～ 29 人
3	2018	3	8 9	作業船停泊基地で停泊中の平台船に積載してある資材整理をするため、被災者は船着き場から当社所有船を単独で操船し、目的の台船停泊場に到着した。そのため、係留用舳ロープを台船の係留ビットに掛けた後、右手で船首ビットへ輪を掛けた直後、他航行船舶が通過し、航波が起きて船が大きく揺れ、係留ロープが強く張ったとき、手指を挟み右手人差し指第1関節を切断、右手薬指、小指を骨折、表皮擦過傷を負った。	64	7	379	30 ～ 49 人
4	2018	6	16	回転式攪拌混合機で粘土と砂を混合する際、作業が終わってミキサーを清掃するとき、被災者がミキサー内に入り、下のベルトコンベアに乗って清掃していたところ、プラント操作者がベルトコンベ	67	1	224	30 ～

			17	アを動かした。被災者はベルトコンベアに載せられて排出口まで運ばれ、約2.6mの高さから墜落し、大腿骨付け根を折った。				49 人
5	2018	6	8 ～ 9	鉄骨造2階建て住宅の足場3段目で、協力会社の作業員と2名で、屋上パラペットのモルタル外壁を人力で解体撤去する際、外壁の一部に老朽化によるクラック及び剥離箇所を確認し手で押さえたところ、左側の外壁（モルタル）の一部が落下し、左足甲に直撃した。	44	4	418	30 ～ 49 人
6	2018	7	14 ～ 15	高圧噴射攪拌工の張り出し足場を組み立てるときに、3段積みにしていた山留材を吊上げた際に、山留材が崩れて被災者の右足ふくらはぎに接触した。	42	4	522	1～ 9人
7	2018	8	15 ～ 16	傾斜堤防潮堤工事の現場で、被覆ブロック据え付け作業中、左ふくらはぎと右足臀部をつる症状が発生し、その後嘔吐で体調が悪くなり熱中症と診断された。	51	11	715	10 ～ 29 人
8	2018	8	15 ～ 16	軌条レールの撤去作業を行っていた際、バックホウと吊り金具で玉掛作業中、レールが吊り金具より転がってしまい、左足を地面とレールの間に挟まれてしまい、左足の指4本を骨折した。	66	6	521	10 ～ 29 人
9	2018	8	8 ～ 9	旧消波ブロックの据え付け完了後、玉掛け作業者が旧消波ブロックの上で玉掛けワイヤーを外そうとしたところ、消波ブロックの一部が突然破損し、約1m落下し、左脇腹を打撲した。	42	1	418	100 ～ 299 人
10	2018	11	14 ～ 15	山に防潮堤を設置する際、バックホウで岩を掘削したあと、作業員3人で岩盤面を手作業で清掃していた。その際、地盤面から岩盤が崩落し、作業員1人の下半身が割れた岩の下敷きになった。	55	5	711	30 ～ 49 人

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。